

事業報告書及び決算書類

平成19年度

平成19年4月1日から

平成20年3月31日まで

財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団

平成19年度事業報告書

自 平成19年4月1日

至 平成20年3月31日

【I】概況

余暇時間の増大、高齢化の進行など社会環境の変化は、人々の生活様式にも急激な変化をもたらし、国民の健康に関する意識の向上と共に、スポーツに寄せる関心は益々高まりを見せています。

このような情勢下、スポーツ科学の振興を目的とする当財団ではこの期待に応えるべく、改めて事業の重要性を認識し、事業活動の推進を図ってまいりました。

まず、健康の増進と体力向上及びスポーツに関連する学術研究の助成事業では、財団選定テーマによる研究委託並びに研究課題公募による研究助成を引き続き実施いたしました。

一方、財団法人日本体育協会への助成を行い、国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与するとともに、財団法人日本オリンピック委員会に対しても、オリンピック事業の推進並びにトップレベルの選手育成・強化を目的として同様の助成を行いました。また、スポーツ科学の国際交流推進を目的として日本体力医学会へ助成を行いました。

なお、平成18年度の事業成果を広く関係者に公表するため、機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.28を発行いたしました。

【II】事業報告

(1)健康の増進と体力の向上及びスポーツ関連科学に関する研究委託並びに調査・研究に対する助成。

1)研究委託（各100万円 総額200万円）

学術委員会・選考委員会において審議の結果、下記2件を選定し、本年度委託研究テーマとして研究を委託いたしました。

①「中高年に対するローイング運動の健康増進効果に関する研究」

早稲田大学

樋口 満

②「高齢者想定具を用いたエクササイズウェアの着衣行動分析」

信州大学

松本 陽一

2)自由課題研究（総額1,100万円）

全国にわたる96の大学または、その他の学校、研究機関より応募された154件の課題の中から学術委員会・選考委員会の審査の結果、下記21件に対し助成を行いました。

●最優秀入選（100万円）

- ①「動的フィット性を追究したウォーキングウェア設計のための
中高年男女下半身ボディの開発」
日本女子大学 大塚 美智子

●優秀入選（各50万円）

- ①「部分的な筋温の低下は筋疲労にどのくらい影響を及ぼすか？」
名古屋大学 秋間 広
- ②「持久運動による若年期からの肥満予防
－糖化・酸化ストレスと最終糖化産物（AGE）との関連－」
大阪市立大学 吉川 貴仁
- ③「ブラジャーのバックパネルの設計条件が動作適合性および快適性に及ぼす影響」
横浜国立大学 薩本 弥生
- ④「動的運動と高次脳機能の向上：最適運動タイプ・運動強度を探る」
広島大学 松川 寛二
- ⑤「小学校水泳授業における保温水着着用の基準設定－環境条件および身体特性を
考慮して－」
九州大学 若林 斉
- ⑥「女性の性周期が筋機能、腱組織の力学的および代謝的特性に及ぼす影響」
東京大学 久保 啓太郎
- ⑦「水中における有酸素トレーニングに対する効果的な栄養摂取について」
島根県立大学短期大学部 籠橋 有紀子
- ⑧「Detrended Fluctuation Analysis(DFA) を用いて高齢者の歩調のゆらぎを測る
（「しなやかさ・力強さ」指標から高齢者の歩行機能低下防止策を探る）」
京都府立医科大学 木村 みさか
- ⑨「筋肉疲労の定量評価を可能とするデジタルヒューマンモデルの研究」
神戸大学 白瀬 敬一
- ⑩「加速度計を用いたバイオフィードバック用センサシステムの開発」
国立スポーツ科学センター 太田 憲
- ⑪「脂肪細胞分化過程およびアディポサイトカイン分泌に及ぼす運動頻度・持続期間
の影響」
共立薬科大学 木村 真規
- ⑫「低酸素環境を利用したトレーニングの繰り返し効果とストレス応答」
仙台大学 内丸 仁
- ⑬「光触媒をコーティングした衣服が運動による発汗後の臭気に及ぼす影響」
中京大学 山根 基
- ⑭「干渉波電流刺激による身体動揺低減効果の検討」
大阪電気通信大学 野村 国彦
- ⑮「札幌ライフスタイルスタディ
運動習慣導入による健康指標改善効果に関する研究」
北海道大学 河口 明人

- ⑯「遷延性疼痛の高次運動機能への影響」
大阪大学 住谷 昌彦
- ⑰「運動時の血流、血圧の変化と皮膚表面から放出される一酸化窒素との関係」
名古屋工業大学 伊藤 宏
- ⑱「高齢者の体力および身体運動トレーニングに対する身体機能改善効果を規定するミトコンドリアゲノム多型の探索」
東京都老人総合研究所 福 典之
- ⑲「女子長距離ランナーの骨塩量および骨代謝マーカーと疲労骨折に関する研究」
順天堂大学 桜庭 景植
- ⑳「組織酸素レベルと筋線維動員パターンからみた血流制限と筋収縮活動の関連性」
電気通信大学 狩野 豊

以上、研究委託2件、自由課題研究21件の研究成果報告につきましては、平成20年6月発行予定の機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.29において広くわが国の研究機関、関係者に公表いたします。

- (2)スポーツ科学の国際交流を目的とする団体の助成（100万円）
諸外国とのスポーツ科学における人的・学問的交流を積極的に推進するため、日本体力医学会への助成を行いました。
- (3)スポーツの振興・発展を目的とする団体の助成（250万円）
国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与するため、財団法人日本体育協会に助成を行いました。
- (4)わが国のオリンピック事業の推進を目的とする団体の助成（250万円）
オリンピック事業の推進並びにトップレベルの選手育成・強化に寄与するため、財団法人日本オリンピック委員会に助成を行いました。
- (5)スポーツの施設・用具・衣服に関する学術的資料の収集、保存及び公開、本財団の事業推進に関し必要と思われる学術的資料の収集を図るため、日本体力医学会、社団法人繊維学会、社団法人日本繊維製品消費科学会等に対し賛助を行いました。

【Ⅲ】活動報告

- (1)機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.28 発行
平成 19 年 6 月

- (2)第 29 回定時総会及び助成金目録贈呈式
日時： 平成 19 年 6 月 7 日 (木)
11:30～11:45 理事会・評議員会
11:45～12:30 助成金目録贈呈式
12:30～13:30 懇 親 会
場所： 株式会社 デサント 東京オフィス
議題： ①平成 18 年度事業報告書承認の件
②平成 18 年度収支決算書承認の件
③その他

- (3)第 29 回学術研究委託及び自由課題学術研究助成金交付
平成 19 年 7 月 31 日

- (4)第 30 回自由課題学術研究公募開始
平成 19 年 9 月 1 日

- (5)第 30 回自由課題学術研究公募締切
平成 19 年 11 月 10 日

- (6)第 30 回自由課題学術研究公募申請書審査
平成 19 年 11 月 10 日～平成 19 年 2 月 10 日

- (7)財団法人日本オリンピック委員会、財団法人日本体育協会ならびに
日本体力医学会への寄附金交付
平成 19 年 12 月 25 日

- (8)学術委員会・選考委員会
日時： 平成 20 年 2 月 27 日 (水) 12:00～14:00
場所： 株式会社 デサント 東京オフィス
議題： ①第 30 回自由課題学術研究公募審査の件
②学術研究委託選定の件
③その他

- (9)理事会・評議員会 (書面)
月日： 平成 20 年 3 月 28 日 (水)
議題： ①平成 20 年度事業計画書案承認の件
②平成 20 年度収支予算書案承認の件

以 上

貸借対照表

平成20年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,313,977	11,910,678	△ 596,701
流動資産合計	11,313,977	11,910,678	△ 596,701
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	576,137,150	576,137,150	0
基本財産合計	576,137,150	576,137,150	0
(2) 特定資産			
助成金積立預金	10,000,000	10,000,000	0
特定資産合計	10,000,000	10,000,000	0
固定資産合計	586,137,150	586,137,150	0
資産合計	597,451,127	598,047,828	△ 596,701
II 負債の部	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本金	576,137,150	576,137,150	0
指定正味財産合計	576,137,150	576,137,150	0
(うち基本財産への充当額)	(576,137,150)	(576,137,150)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	21,313,977	21,910,678	△ 596,701
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
正味財産合計	597,451,127	598,047,828	△ 596,701
負債及び正味財産合計	597,451,127	598,047,828	△ 596,701

正味財産増減計算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	19,625,606	16,853,912	2,771,694
基本財産受取配当金	10,659,201	15,227,430	△ 4,568,229
基本財産運用益計	30,284,807	32,081,342	△ 1,796,535
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	30,081	10,925	19,156
③ 雑収益			
受取利息	20,250	5,247	15,003
雑収益	9,134	11,285	△ 2,151
雑収益計	29,384	16,532	12,852
経常収益計	30,344,272	32,108,799	△ 1,764,527
(2) 経常費用			
① 事業費			
委託研究費	2,000,000	1,000,000	1,000,000
助成金支出	11,000,000	9,000,000	2,000,000
寄付金支出	6,000,000	6,000,000	0
資料収集調査費	1,370,000	1,275,000	95,000
印刷製本費	6,788,766	7,239,576	△ 450,810
事業費計	27,158,766	24,514,576	2,644,190
② 管理費			
支払報酬	1,066,664	1,194,441	△ 127,777
会議費	1,424,613	1,441,494	△ 16,881
旅費交通費	1,177,000	895,000	282,000
通信運搬費	59,320	63,190	△ 3,870
消耗品費	0	210	△ 210
雑費	54,610	14,080	40,530
管理費計	3,782,207	3,608,415	173,792
経常費用計	30,940,973	28,122,991	2,817,982
当期経常増減額	△ 596,701	3,985,808	△ 4,582,509
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 596,701	3,985,808	△ 4,582,509
一般正味財産期首残高	21,910,678	17,924,870	3,985,808
一般正味財産期末残高	21,313,977	21,910,678	△ 596,701
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	576,137,150	576,137,150	0
指定正味財産期末残高	576,137,150	576,137,150	0
III 正味財産期末残高	597,451,127	598,047,828	△ 596,701

財 産 目 録
平成20年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	
普通預金 三井住友銀行船場支店	10,271,010
普通預金 北國銀行大阪支店	1,042,967
流動資産合計	11,313,977
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
投資有価証券	
スウェーデン地方金融公社債	100,000,000
ノルウェー輸出金融公社債	200,000,000
BTM CURA HLDG FR (円建永久劣後社債)	100,000,000
利付国庫債券 (10年) 第238回5月	100,000,000
株式会社デサント株式 (1,522,743株)	76,137,150
基本財産合計	576,137,150
(2) 特定資産	
助成金積立預金	
定期預金 三井住友銀行船場支店	10,000,000
特定資産合計	10,000,000
固定資産合計	586,137,150
資産合計	597,451,127
II 負債の部	
負債合計	0
正味財産	597,451,127

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

投資有価証券については、総平均法による原価法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	576,137,150	30,284,807	30,284,807	576,137,150
小計	576,137,150	30,284,807	30,284,807	576,137,150
特定資産				
助成金積立預金	10,000,000	30,081	30,081	10,000,000
小計	10,000,000	30,081	30,081	10,000,000
合計	586,137,150	30,314,888	30,314,888	586,137,150

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	576,137,150	576,137,150	0	0
小計	576,137,150	576,137,150	0	0
特定資産				
助成金積立預金	10,000,000	0	10,000,000	0
小計	10,000,000	0	10,000,000	0
合計	586,137,150	576,137,150	10,000,000	0

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
投資有価証券			
スウェーデン地方金融公社債	100,000,000	87,900,000	△ 12,100,000
ノルウェー輸出金融公社債	200,000,000	171,600,000	△ 28,400,000
BTM CURA HLDG FR (円建永久劣後社債)	100,000,000	99,340,000	△ 660,000
利付国庫債券(10年)第238回5月	100,000,000	102,740,000	2,740,000
合計	500,000,000	461,580,000	△ 38,420,000

収 支 計 算 書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	増減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用収入			
基本財産利息収入	17,970,000	19,625,606	1,655,606
基本財産配当金収入	10,640,000	10,659,201	19,201
基本財産運用収入計	28,610,000	30,284,807	1,674,807
②特定資産運用収入			
特定資産利息収入	0	30,081	30,081
特定資産運用収入計	0	30,081	30,081
③雑収入			
受取利息収入	0	20,250	20,250
雑収入	10,000	9,134	△ 866
雑収入計	10,000	29,384	19,384
④寄付金収入			
寄付金収入	0	0	0
寄付金収入計	0	0	0
事業活動収入計	28,620,000	30,344,272	1,724,272
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
委託研究費	2,000,000	2,000,000	0
助成金支出	11,000,000	11,000,000	0
寄付金支出	6,000,000	6,000,000	0
資料収集調査費	1,300,000	1,370,000	70,000
印刷製本費	7,260,000	6,788,766	△ 471,234
事業費支出計	27,560,000	27,158,766	△ 401,234
②管理費支出			
支払報酬	1,200,000	1,066,664	△ 133,336
会議費	1,460,000	1,424,613	△ 35,387
旅費交通費	1,422,000	1,177,000	△ 245,000
通信運搬費	50,000	59,320	9,320
消耗品費	40,000	0	△ 40,000
雑費	40,000	54,610	14,610
管理費支出計	4,212,000	3,782,207	△ 429,793
事業活動支出計	31,772,000	30,940,973	△ 831,027
事業活動収支差額	△ 3,152,000	△ 596,701	2,555,299
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入			
助成金積立預金取崩収入	5,000,000	0	△ 5,000,000
投資活動収入計	5,000,000	0	△ 5,000,000
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出			
助成金積立預金取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	5,000,000	0	△ 5,000,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	500,000	0	△ 500,000
当期収支差額	1,348,000	△ 596,701	△ 1,944,701
前期繰越収支差額	11,787,439	11,910,678	123,239
次期繰越収支差額	13,135,439	11,313,977	△ 1,821,462

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金（基本財産となるもの及び特定預金を除く）及び未収入金、未払金など短期債権・債務を含めることにしている。
なお、前期末及び当期末残高は、2. に記載のとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	11,910,678	11,313,977
合計	11,910,678	11,313,977